



2017.3.5

No. 278

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 杉山 元
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

国・道、経済5団体に要請行動を実施! 賃金・労働条件改善、雇用対策の拡充など要請

連合北海道は、2017春季生活闘争のヤマ場を3月15日に控え、3月1日に北海道、3月3日は北海道労働局及び経済5団体（北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体連合会）に対して、賃金・労働条件改善、雇用対策の拡充などの要請行動を実施した。

■北海道経済5団体

北海道経済5団体との労使懇談会で出村会長は、「底上げ春闘2年目だが、大手と中小、正規と非正規の格差は広がっている」とし、「3年連続の賃金改善の流れを継続し、社会全体へ広がりを持たせることが重要。とりわけ経済の自律的成長のためにも消費性向の高い月例賃金のアップと中小企業や非正規労働者の処遇改善が必要」と強調した。さらに、長時間労働の是正や同一労働同一賃金などの働き方改革については、実現に向けて「労使でしっかり議論していくことが重要」であり、ワークライフバランスの実現、違法な働き方を根絶するためにもワークルールの遵守に向けて経済団体としても取り組むよう要請した。また、JR路線維持問題など共通課題の克服に向け、連携・協働して取り組むことを求めた。



北海道経済連合会の高橋会長は、「労使懇談会は重要な場と認識、道内企業の業績は原材料価格の高騰など厳しい環境にあるが、経済の好循環を持続するためにも賃上げが重要と考える。中期的なトレンドで収益が好調な企業も賃上げに協力するよう求めたい」と述べた。他の団体からは「ゆるやかな回復とあるが実感できない」「人材確保のための防衛的賃上げが多く実力以上の引き上げとなっている」といった声が出されるとともに、賞与・一時金を中心に年収ベースの引き上げが重要との本音も述べられた。このほか、連合北海道の浪岡副会長から、非正規社員の処遇改善、時間外労働の縮減、休暇取得の向上に向けた産別の取り組み状況が報告された。



■北海道労働局

会長は、依然として法違反の労働相談が多いことから労働基準監督官などの増員を求めるとともに、高度プロ制度、解雇の金銭解決には反対であり本省に上申するよう求めるとともに、若者の離職防止など北海道特有の課題解決、雇用の質の改善等について要請した。



■北海道

連合北海道の杉山事務局長より要請を受けて、辻副知事は「非正規労働者の処遇改善、良質な雇用の確保に向け、労使一体での改善が必要」で、各種統計数値はいいが雇用のミスマッチの解消、道外流出の防止など、地域の声も大事にしながら連合北海道の要望をしっかりと受け止め対応していきたいと述べた。



〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=2751>

点から面への交流へと拡大

2017春季生活闘争第3回医療(看護師)職場の意見交換会

連合北海道は2月17日、2017春季生活闘争の取り組みの一つとして「第3回医療(看護師)職場の意見交換会」を札幌市内で開催した。道内各地から看護師や助産師等12単組38名が参加。各病院の実態報告や今回初めて取り入れた分散会を通じて、各単組・職場の取り組みに学び合い、春季生活闘争で看護職員をはじめとする医療職場の処遇改善に向けて取り組んでいこうと確認し合った。

参加者からは看護師不足に伴う職場環境の改善に向けて、「他の職場の取り組みを自分たちの職場に活かしていきたい」、「今度は単組の合同会議を開催し、処遇改善に向けた取り組みを学び合いたい」などの感想が聞かれた。2015春季生活闘争から開催して3年が経過し、参加者の交流にとどまらずに組織間の交流へと発展していることが感じられた意見交換会となった。

■慢性化している看護師不足の背景には職場環境の厳しさ

慢性化している看護師不足の背景には時間外労働の常態化、低い休暇取得率、夜間勤務の負担増、5年間横ばいの賃金といった職場環境の厳しさに伴う高い離職率があり、都道府県別の常勤看護職員離職率は東京、神奈川、大阪など大都市部で高い傾向となっているが、北海道も8番目に高い離職率となっている。道の調べでも道内で約4千人の看護師が不足しているとしている。安心・安全な医療・看護提供体制を確保し、看護師の離職防止と働く環境整備が急務となっており、冒頭、連合北海道永田組織労働局長も看護師不足、賃金の状況、夜勤時間の長時間化などにふれ、「情報を共有し、好事例の場としての意見交換会としたい」と開催の趣旨を含めて挨拶した。

■好事例に学ぼうと熱心に意見交換

全体会議では有給休暇の取得状況や時間外労働の実態、ハラスメントの状況をはじめとする各病院の実態や組合の取り組みについて参加12単組から報告がされた。その中では、情報労連NTT北海道総支部札幌病院



分会から「労働組合と使用者との交渉で有給休暇の取得は当たり前という職場環境ができている」、「数年前に離職者が急増していることに病院が危機感を感じて看護職員満足度調査を実施し、結果をふまえて看護師の業務負担軽減に向けた施策を実施している」など処遇改善に向けて、単組の取り組みに参考となる報告がされた。その後の分散会でも10人程度のグループにわかれ、情報の共有、各単組や職場の取り組みに学ぼうと熱心に意見交換がされた。

■人に着目した改善が必要

意見交換会に先立ち、2年前に設立された北海道医療勤務環境改善支援センターの富樫真紀子アドバイザーを招いて、「看護師等の医療スタッフの離職防止、医療安全の確保」と題して学習会を開催。富樫さんは支援センターの取り組みを紹介するとともに、「職場で何が一番問題になっているか、制度はあっても活かされる職場風土になっているかチェックしてほしい」、「労務管理は人を無視してはいけない。人に着目した改善が必要」などと、働きやすい職場をつくるための視点についてアドバイスをした。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=2708>



連合北海道就活応援セミナー開催 就職活動に向けて大学生、既卒者ら参加

連合北海道は2月26日、札幌市内において就活応援セミナーを開催した。これから就職活動を控えている大学生、既卒者、学校の就職指導部の職員ら15名が参加した。

開催に先立ち、連合北海道の出村会長は、「2011年にスタートした就活セミナーは今回で9回目となる。連合は組織率が17%程度と、多くの職場には労働組合が存在していないが、春闘をはじめ労働条件の改善や労働相談等の取り組みを行っている。2010年以降、ブラック企業という言葉が出始めてきたが、セミナーを通じて、違法な働き方をしているブラック企業から、自らがワークルールの知識を身につけ身を守るすべを得てほしい」と挨拶した。

講演では、(株)インタメプロダクション(東京)の渋谷文武代表取締役が「第1志望から確実に内定をとる方法」と題して、エントリーシートの書き方や面接の受け方を伝授。「自己PRや面接のコツをつかめば、倍率の高い企業にも受かることができる」「自分らしく生きれば才能が発揮できて、働くことも人生も楽しい」とエールを送った。

続いて、連合北海道の齋藤副事務局長は、社員を使い捨てるように働かせる「ブラック企業」や、求人票・募集



広告の見方などについても説明した。途中、某企業の人事担当者と生電話をして人事担当者からみた面接のポイントなどについてもアドバイスした。

セミナー終盤には、行政や大手民間企業、約20労組の組合員もアドバイザーとして参加し、「希望どおりの勤務地に配属されるのか」「給料はいくらか」などといった学生らの本音の質問に答えていた。

〈この記事のアドレス〉
<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=2737>



北海学園大学で「就活応援講座」 今年も「就活とワークルール」テーマに講演

2018年卒の就職活動が来月より本格化するにあたり、2月4日、北海学園大学I部学生自治会主催の「就活応援講座」が同大学内で開催された。

今年も4年連続で齋藤勉副事務局長が「就活とワークルール」というテーマで講演。冒頭、クイズ形式でワークルールの学んだ後、就活の裏事情と連合に寄せられた労働相談を参考に、ブラック企業の見分け方など具体的事例を入れながら講演した。また、現職の人事採用担当者とライブ中継を行い、「専攻学部と違う業種の企業に入ることはどうか」「重複内定の時どうすればいいか」「緊張する時どうしたらいいか」「学生時代何もしておらず自己PRをするところがない」など学生の疑問点に対して、採用側からのアドバイスもあり、参加した学生の不安解消に役立った様子だった。

セミナー開始前には昨年同講座を受講した学生2名が

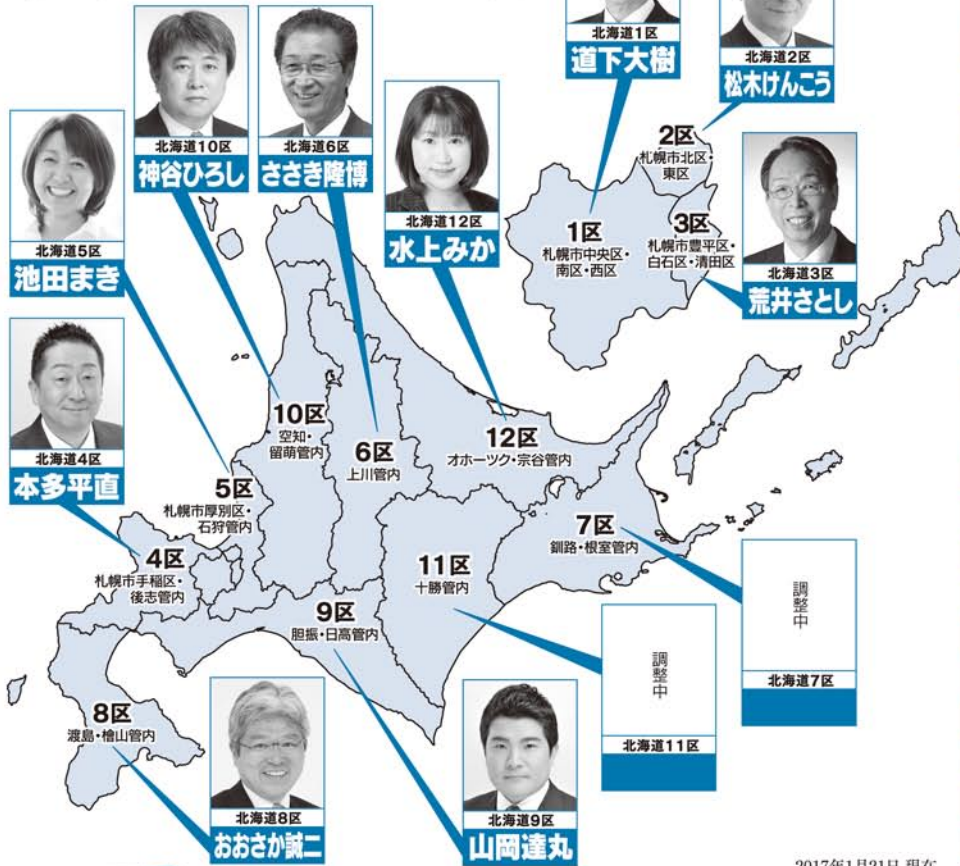


休みにもかかわらず内定報告に来たり、終了後も1時間近く学生から就活の質問や悩み相談を受けるなど、充実した講座となった。

〈この記事のアドレス〉
<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=2693>

第48回衆議院選挙 各区候補予定者一覧

連合北海道は民進党を応援しています。



1区 (札幌市中央区・南区・西区)	道下大樹 (新)
2区 (札幌市北区・東区)	松木けんこう (現)
3区 (札幌市豊平区・白石区・清田区)	荒井さとし (現)
4区 (札幌市手稲区・後志管内)	本多平直 (元)
5区 (札幌市厚別区・石狩管内)	池田まき (新)
6区 (上川管内)	ささき隆博 (現)
7区 (釧路・根室管内)	候補者調整中
8区 (渡島・檜山管内)	おおさか誠二 (現)
9区 (胆振・日高管内)	山岡達丸 (新)
10区 (空知・留萌管内)	神谷ひろし (新)
11区 (十勝管内)	候補者調整中
12区 (オホーツク・宗谷管内)	水上みか (新)

2017年1月21日 現在

おめでとうございます! マンズリー新春パズル当選者決定

「MONTHLYれんごう北海道」276号(新春号)の新春パズル当選者20名が決定いたしました。当選者の方々は以下のとおりです。おめでとうございます。

クロスワードパズルの正解は「シュウギン」でした

新春パズルご当選者(敬称略・五十音順)

- 石垣小百合(JR総連) / 蛭澤克之(JAM北海道)
- 織田浩子(北教組) / 黒石公晴(JAM北海道)
- 小嶋素子(北教組) / 幸坂金幸(情報労連)
- 坂口勝利(国公連合) / 鈴木文男(情報労連)
- 高橋恵(自治労) / 富樫大祐(JAM北海道)
- 永須義昭(情報労連) / 西岡諭志(UAゼンセン)
- 野崎貴宏(JR総連) / 藤枝孝憲(北教組)
- 藤田操(情報労連) / 馬渡真哉(UAゼンセン)
- 水野哲和(電力総連) / 三浦淳一(全造船機械)
- 山下浩見(情報労連) / 横山義正(全水道)



3月の主な動き

- 2017春季生活闘争 道庁への要請行動
1日(水) 14:00/北海道庁
- 中央執行委員会
2日(木) 13:30/連合会館
- 2017春季生活闘争労働局への要請行動
3日(金) 10:15/第1合同庁舎
- 2017春季生活闘争経済5団体との懇談会
3日(金) 13:30/経済センタービル

- 第1回メーデー実行委員会
8日(水) 13:30/ポールスター札幌
- 第1回組財小委員会
9日(木) 16:30/札幌市民ホール
- 2017春季生活闘争街頭宣伝
15日(水) 12:00・17日(金)・29日(水)
- 第6回執行委員会
22日(水) 10:15/連合北海道会議室
- 第3回道季労支援センター運営委員会
22日(水) 15:30/連合北海道会議室

イベントカレンダー

**2017春季生活闘争勝利
3.9全道総決起集会**
9日(木) 18:00
札幌市民ホール

- 第2回憲法委員会
22日(水) 18:30/ポールスター札幌
- 公契約条例に関するワーキングチーム
29日(水) 13:30/連合北海道会議室